

佐渡市議会議員

トピックス

- ・佐渡汽船あかねの問題について
- ・プレミアム商品券の実施!
- ・新しい生活様式補助事業、2次公募のお知らせ
- ・保育園の受入れ状況について
- ・防災拠点庁舎整備(新庁舎)について
- ・新型コロナウイルス対策について

佐渡の未来を創る



後藤ゆうすけ

会派 新生クラブ ※本チラシに掲載している質問・質疑・意見は、佐渡市議会で後藤ゆうすけが発言したものの要旨です。

～令和2年度 後藤ゆうすけの公報より～

各分野の一番ネタを作り、佐渡への視察観光を増やします

次期に取り組む4つの課題

- ・エネルギー政策(離島の強みを生かす)
- ・子育て政策(UIターンの促進)
- ・奨学金制度の拡充(人手不足への対策)
- ・交通空白地対策(医療・災害などの緊急時対策)



新型コロナで停滞する景気刺激策を市に訴えます

財政調整基金(約60億円)を財源とした対応策を提言します。

- ・プレミアム商品券の実施(全市民対象)
- ・コロナ収束後の誘客対策として「佐渡汽船・自動車航送料の大幅割引」の実施など、大胆な航路改革への提言

緊急提言!

申込者 約14,400人
販売セット数 約28,300セット
※完売率94%

市政ニュース①

プレミアム商品券の利用が10月より開始!

6月議会の一般質問の中で市に提案した「プレミアム商品券」がいよいよ10月に利用開始となります。

《佐渡市ホームページより》

8月31日期限で受け付けました商品券の購入申込結果は、準備した3万セットに近いお申込みをいただきました。大勢の皆さまからのご応募ありがとうございました。

市政ニュース②

新しい生活様式補助事業(2次公募)が10月開始となります。

感染拡大防止と経済活動を両立させるため、店舗などの改修・改装工事と衛生用品(消耗品)の購入を支援する補助事業の2次公募が開始します。晩秋から冬にかけてコロナの第3波が懸念されており、佐渡クリーン認証を取得し、事前の策として備えることが望まれます。認証取得にも役立つ補助事業でありますので、是非この機会にご検討されてみてはいかがでしょうか。

※新潟県ホームページよりピクトグラムを引用

URL <https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/shogyoshinko/pictogram.html>

令和2年9月議会

佐渡汽船あかねの問題について

あかねが売却できず、そのまま使い続けなければならない場合、船舶のドック入り時期をずらすことで、冬期にあかねを運航しなくても済むプランを市に提案しました。

月	カーフェリー			ジェットfoil		
	おけさ丸	ときわ丸	あかね	すいせい	つばさ	ぎんが
1月	○	○	運休	ドック	○	○
2月	○	○	運休	ドック	○	○
3月	ドック	○	○	○	○	○小木
4月	○	ドック	○	○	○	○小木
5月	○	○	○小木	○	ドック	○
6月	○	○	○小木	○	ドック	○
7月	○	○	○小木	○	○	○
8月	○	○	○小木	○	○	○
9月	○	○	○小木	○	○	○
10月	○	○	○小木	○	○	○
11月	○	○	○小木	○	○	ドック
12月	○	○	ドック	○	○	ドック

質問¹

おけさ丸、ときわ丸、つばさのドック入りを二か月後ろにずらす。3・4月の春先に、両津航路であかねを

答弁²

補助事業のルールに従う。佐渡汽船が特別損失を出しても、補助事業の手続きには関係ない。

質問²

あかねの直近における未償却残高は約40億である。仮にこの金額以下で売却された場合、市の補助金8億1千万円の返還について、一定程度まで、まけて欲しいという話にはならないか。

答弁¹

あかねが売却できない場合には、一つの可能性として議論することも検討したい。

運航し、小木航路はジェットfoilで代替させる。この案を佐渡航路確保維持改善協議会で、提案してはどうか。

後藤ゆうすけ プロフィール

●昭和54年12月20日生まれ ●新潟市出身、新潟明訓高校卒、バレー部に所属し春高出場。●琉球大学理学部卒、在学時スイスで開かれた世界ラート選手権大会に日本代表として出場。●神奈川県環境コンサルタント会社を経て、アイマーク環境(株)に入社。同社社長に就任し数年間経営に従事する。平成27年から4年間、新穂湯上温泉の経営にも従事する。●平成31年市議会議員補欠選挙にて初当選、現在2期目。

後藤ゆうすけのホームページ <https://goto-y.info/>

行政に対するご意見・ご質問・ご相談がございましたら、

後藤ゆうすけまでご連絡ください。



携帯 090-9788-2459 mail ygsp1979@gmail.com



令和元年度 一般質問にて

- モットー 小さくてもNo.1
- 特技 ラート(元全日本代表)
- 家族 妻・息子

保育園の受入れ状況について (市民厚生常任委員会)

保育園の受入れ状況について、定員に達していないにも関わらず、受け入れを断った事例について調査しました。さらに、今、対処でき得る改善点について市に意見しました。

保育士の退職者について、平成28年が7人、29年が5人、30年が5人。このリストを総務課では保管している。人員の確保について、現場の保育園に任せつきりにするのはなく、所管課が責任をもって行うこと。いざという時は臨時に保育をお願いすることもあるため、その際はなんとか調整して欲しい旨を事前に伝えておくべきである。

9月議会質問

6月定例会の所管事務調査でも指摘した保育士不足への対応策として、定年された方への一時復帰、働きかけは所管課の「子ども若者課」で対応するようとの指摘をしたが、その後、改善されたか。

9月議会答弁

退職者についても直接、所管課の方で対応している。今後についても同じように働きかけを行っていききたい。



後藤の考え

コロナ禍において、今後ますます地方に移住する機運が高まってきます。ファミリー世帯の需要を取り込むためにも、子育て施策に対する注目度は高いと言えます。その中で、新規的な取り組みよりも、まずは基本的な部分を疎かにしてはならないと考えます。

防災拠点庁舎整備について

ゼロカーボンアイランドの実現を見据え、「省エネ庁舎」としての防災拠点庁舎整備を市に提案しました。また、建設予定地がハザードマップの浸水エリアにあることを受け、新保川の流下能力を向上させる目的で河床掘削を県に求めていくことを提案しました。

神奈川県開成町では、日本初となる消費エネルギーが実質0(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の「省エネ庁舎」として今年5月に業務が開始された。高断熱化、日射遮蔽、自然エネルギー利用、高効率設備により、年間で消費する建築物のエネルギー量を大幅に削減できている。市長の所信表明「SDGsを柱とした持続可能な島づくりに向けた戦略の策定に取り組み」に合致していると考えられるがどうか。

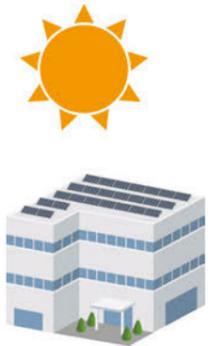
9月議会質問

現在、新保川の河床には、土砂が堆積し、所々に樹木が生い茂っている状態にある。これでは、洪水時に十分な流下能力を期待することができない。県に対し新保川の河床掘削を実施してもらおう、市から働きかけていただきたい。

9月議会答弁

庁舎周辺住民の不安解消の要望があることから、現在休止中の未改修区間上流部にある護岸改修について、早期事業化を県へしっかりと要望する。

必要なものを最低限のコストで将来負担を下げていくことを考えている。その中で防災力を強化していくことを大きな柱としている。それを踏まえながらエネルギーについて日本のトップを目指すような庁舎という点も、その中で考えていくことが一つの方針である。様々な形で検討したい。



後藤の考え

庁舎整備の説明会で「新庁舎を作っても、視察目的の観光が増えるのか?」といったご意見がありました。私の持論では、どんなに小さくても、たとえニッチな分野であったとしても、No1を作ることが大切です。それが全国からの視察観光に繋がっていくものと考えます。市が、昨年宣言した「ゼロカーボンアイランド」の実現を見据え、将来のランニングコスト(光熱費)低減のため、断熱性能や、エネルギーの高効率といった「省エネ庁舎」で全国No1を取ることを市に提案しております。

新型コロナウイルス対策について

コロナ禍における災害対策や、これまで実施した支援策の検証と改善策などについて、市に提案しました。

コロナ禍における宿泊施設との災害時応援協定について。かつては、避難場所のリストに民間の宿泊施設が記載されていた。ホテル旅館組合などに対し災害時応援協定への呼びかけをすべきである。具体的には、高齢者、基礎疾患のある方、障がいを持たれている方、妊産婦などを優先的に受け入れてもらうなど考えられるがどうか。

県が協定を結ぶ島内代表者の連絡先をもらった。今後は先方と話を詰めていきたい。

コロナ対策における、「心のケアや、噂・誹謗中傷への対応策」は最重要課題である。他の自治体事例では、鳥取県において、感染者やその家族らに対する「中傷や差別」を防ぐための条例が制定されている」と答弁がなされました。

コロナ対策における、「心のケアや、噂・誹謗中傷への対応策」は最重要課題である。他の自治体事例では、鳥取県において、感染者やその家族らに対する「中傷や差別」を防ぐための条例が制定されている」と答弁がなされました。

補足



9月議会質問

観光客が様々な場面で個人情報記載を求められるのは非常に億劫である。観光客には共通の通行手形(パスポート)のようなものを発行してはどうか。通行手形があれば、個人情報取得は乗船時の一度きりで済むし、任意

9月議会答弁

色々なルールを整備し、しっかりと検討したい。

この冬から春先にかけて、ホテル等で、宴会などが軒並みキャンセルとなり、大きな損失となった。国のGo Toイート事業が開始されるが、個別対策の推奨例についても議論されている。三密対策として、テーブル・座席配置の分散、ガイドラインの遵守、クラスター発生時の利用者告知サービスの導入、接触確認アプリ登録の周知などが挙げられる。国の指針に加え、佐渡グリーン認証で一定程度の基準をクリアしている店舗を対象に、冬季及び春先に再度、お店で半額の補助事業を実施してはどうか。

有効かどうかを研究して検討したい。

後藤の考え

晩秋から冬にかけてコロナ第3波が懸念されます。コロナ対策の支援策については、国等の動きや経済情勢を注視し、しっかりと取り組みたいと市長から答弁がありました。それを踏まえてコロナ対策のベースとなる支援策は次年度以降も通期で実施すべきと考えます。新型コロナ特例措置の雇用調整助成金は、12月末まで延長されることになりました。国の支援が終了した後も、事業所負担の半分を市が補助する支援策を検討すべきと考えます。さらに、これまで実施してきた経済対策の中で、比較的好評だった施策について、次年度以降も継続して実施すべきと考えます。



令和2年9月 一般質問にて